

# 「鬼は外！福は内！」と、元気なかけ声が園庭に響き渡りました～年少うめ組・年中組の「豆まき」の様子を！～ 《NO.2》

年少組の「豆入れ」は、先生方が作ったバックに「折り紙をちぎって糊で貼り付け」ました。みんなで楽しくできた「お面の製作活動」。出来上がった作品を見て、大喜びの子ども達でした。



年中組では、頭を鬼さんに「パクッ」とされているユニークな帽子を作りました。鬼の目と歯の部分はハサミを使い自分たちで切りました。それを帽子に糊で貼り付けます。糊で貼る作業もとっても上手になり、さすが年中さんだと感じました。

「豆入れ」は、「鬼のパンツ」を作りました。黒の折り紙を手でビリビリと破り、「鬼のパンツ」の模様にししました。とても強そうな「鬼のパンツ」ができました。個性あふれる鬼の帽子をかぶり、豆入れを持っていざ鬼退治に！細々とした難しい作業を楽々となす子ども達を見て成長を感じました♡



「豆まき」の始まりです。どこから鬼が来るのか、豆を手に構えている子ども達。すると、突然「園舎南側通路」の方から棒を振り上げながら赤鬼・青鬼が登場しました。しかし、今年の鬼たちは大きな声など出さず、スキップをするなど少しユーモラスです。いつもより怖そうでない鬼でも、その格好にビビる子ども達。中には、怖さのあまり先生に抱きつく子も。鬼が子ども達めがけて寄ってくると、「鬼は外」のかけ声で豆まきの始まりです。持っている豆を鬼めがけて投げつけます。これには鬼も思わず、「痛い！」。鬼も少しずつ弱っているようです。最後は多勢に無勢、子どもたちの勝利でした。

